

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|---|---|
| 事故等番号 | 2011長第107号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成23年6月30日 07時10分ごろ | |
| 発生場所 | 長崎県大村市大村港（富ノ原地区）西方沖 長崎空港飛行場灯台から真方位012° 2.5海里付近 （概位 北緯32° 56.9′ 東経129° 55.6′） | |
| 事故等調査の経過 | 平成23年11月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 砂利採取運搬船 サンド1号、1,599トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 135477、サンド工業株式会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、四級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | プロペラが曲損、スタンチューブから漏水 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか5人が乗り組み、船首約4.3m、船尾約4.6mの喫水で大村港（富ノ原地区）西方沖を約2ノットの速力で東進中、平成23年6月30日07時10分ごろ浅所に乗り揚げた。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南東、風速 約4m/s 海象：潮汐 上げ潮の中央期 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、大村港（富ノ原地区）西方沖を東進中、長崎空港飛行場灯台北北東方沖の浅所に接近したことから、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、大村港（富ノ原地区）西方沖を東進中、長崎空港飛行場灯台北北東方沖の浅所に接近したため、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅所が存在する水域を航行する場合は、浅所から適切な距離を隔てて航行すること。 | |